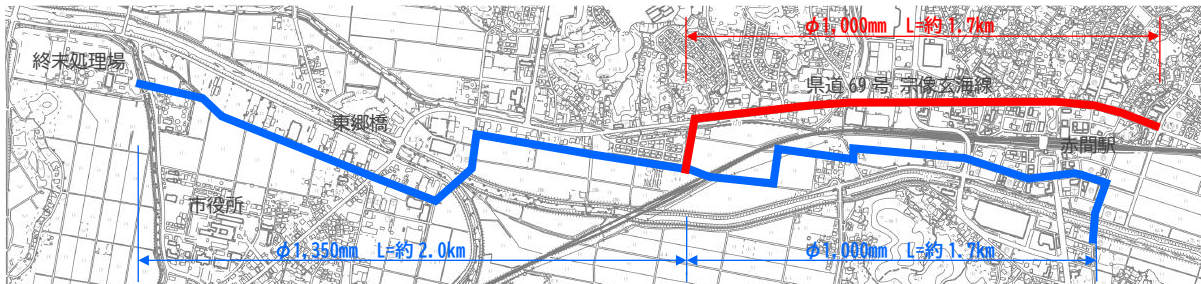


## 下水道管路施設の緊急点検について

### <調査内容等>

- ・調査場所：県道 69 号宗像玄海線  
    稲元 4 丁目（池田橋）～三郎丸 1 丁目（黒町踏切）約 1.7 km（図面 1 赤線部）
- ・経過年数：約 44 年（昭和 56 年設置）
- ・管底までの深さ：約 4m～9m
- ・調査方法：本管 TV カメラ調査
- ・実施時期：令和 7 年 3 月（夜間）



（図面 1 管径φ1,000mm 以上の管路図）

### <調査方法>

調査方法としては、今回、汚水の流量が多く、有害ガスの発生も見込まれるなど、職員等が管内に立ち入ることが非常に困難な状況であるため、作業時の安全面と衛生面の確保を最優先に考え、（写真 1）のとおり大口径 TV カメラ調査を採用する。

また、（写真 2）のとおり、地上の操作車両から自走式の高性能 TV カメラで、管内のズレ、クラック（ひび割れ）、腐食などの管内状況を確認しながら調査を行い、調査結果を映像で記録、保存することとしている。



（写真 1 大口径 TV カメラ調査）



（写真 2 地上操作車両）

### <本市の点検調査状況>

本市では、ストックマネジメント計画に基づき、毎年、路線毎に点検調査対象の優先順位を設定しながら、所要の点検調査を行うこととしており、ポンプによる圧送管の吐出先マンホールなどの腐食については、少なくとも 5 年に 1 回は点検調査を実施している。